

提出 20 年 5 月 31 日

会合議事録

研究会名：構造物性研究会

日 時：H19 年 10 月 29 日 19：30-22：00

場 所：SPRING-8 構造生物学棟セミナー室 A (109 室)

出席者：北川宏（九州大学） 池田直（岡山大学） 高田昌樹（理研） 大隅寛幸（理研） 木村滋（JASRI） 黒岩芳弘（広島大学） 西堀英治（名古屋大学） 久保田佳基（大阪府大） 野上由夫（岡山大学） 守友浩（筑波大学） 寺崎一郎（早稲田大学） 計 11 名

議題：SPRING-8 が拓く構造物性の革新とは

1. 研究会の趣旨説明：九州大学 北川 宏
2. 回折装置の革新 (25 分) 「JASRI 高度化計画における新単結晶回折装置」
広島大学 黒岩 芳弘、 JASRI 大隅 寛幸
3. キネティクス・ダイナミック計測への革新 (25 分)
「ピンポイント構造計測の進捗状況」
「時分割実験とマイクロビーム実験の現状」
JASRI 木村 滋, 理研 田中 義人
4. 物性同時測定による革新 (25 分)
「反射率同時測定による光誘起現象の構造物性研究」
筑波大学 守友 浩
5. 磁気構造物性へ展開 (25 分)
「非共鳴・共鳴磁気散乱が拓く新しい磁気秩序研究」
JASRI 大隅 寛幸, 東北大学 有馬 孝尚
6. パネルディスカッション (30 分)
「次世代の構造物性構築に向けた戦略」
ディスカッションリーダー 北川 宏、高田 昌樹、池田 直

議事内容：外場変化などに伴う物性同時測定の測定技術開発に関する会合を開いた。次世代の構造物性ビームラインの設計のうち、BL02B1 に新設予定となっている新型振動写真装置に関し、基本デザインや基本仕様について徹底的に議論を行った。

以 上